


第74号 秋晴号

平成29年9月20日発行

信愛会  
理 念  
愛・信頼・貢献

# はまゆう

発行：社会福祉法人信愛会  
土肥ホーム  
戸田デイサービスセンター  
住所：〒410-3301  
静岡県伊豆市小土肥787-2  
電話：0558-98-2900  
発行者：福室悦子



みんなに伝えたい「笑顔」が  
ここにあります。

## もくじ

- ★優良運転手の表彰 . . . . . 2 P
- ★土肥ホームの取り組み . . . . . 2 P
- ★土肥ホームの星 . . . . . 2 P
- ★介護あれこれ (排泄編 PART1) . . . 3 P
- ★新人紹介 . . . . . 3 P
- ★平成 28 年度事業報告 . . . . . 4 P
- ★平成 28 年度決算報告 . . . . . 4 P
- ★編集後記 . . . . . 4 P

私たちはご利用者・ご家族の笑顔が一番大切にしています。ご利用者の安心や安全に繋がる介護の取り組みに努めており、その取り組みの結果が、ご利用者の笑顔に繋がる様に目指しています。

**表彰  
されました**

土肥ホームサポートスタッフの勝呂幸夫さんが、優良運転者として県警本部長・県安協会長表彰を受けられました。20年間もの無事故・無違反で運転をされて来ました。土肥ホームではデイサービスの送迎や配食サービスの配達をしています。



日頃、気をつけていることはなんですか？

急発進・急ブレーキに  
気をつけて、  
ゆっくり運転するよう  
心掛けています。  
デイサービスのご利用者から  
「今日も1日楽しかったよ。  
送り迎えをしてもらえて天国だ。」  
とお話があり  
励みになっています。



## 安全運転に取り組んでいます



**任命  
されました**



『安全運転管理者』とは、道路交通法に基づき一定以上の台数の自家用自動車を保有する事業所において、運行計画や運転日誌の作成、安全運転の指導を行う者です。

土肥ホームでも15台の車輛を保有しているため安全運転管理者が選任されています。ご利用者の送迎・訪問など、毎日多くの職員が移動の手段として車輛を運転していますが、全車輛の運行状況は運転日誌により管理されており、今年の7月からはドライブレコーダーも搭載され、職員の安全運転への意識づけとして効果が期待されています。

今年の4月からは、松本事務係長が土肥ホーム安全運転管理者に任命され、静岡県公安委員会より安全運転管理者証が交付されました。



**高橋和美**

土肥ホーム介護職

平成16年入社

個々にあったケアを行い、ご利用者の訴えを受容し、コミュニケーションをとり、ご利用者が負担にならないように楽しく過ごせるようお手伝いをしていきたいです。職員同士で何でも言い合える環境にしていき、今以上に良い介護をしていきたいと思えます。

**質問③ 高橋さんにとって介護に対する思いを聞かせてください。**

**質問② 介護の仕事をして良かった事は何ですか？**  
仕事をしていく中で、ご利用者のケアをしていると、「ありがと」「手伝ってくれて助かるよ」と声をかけられる時です。また、ショートステイのお迎えの際、認知症により利用に対する理解ができず拒否がみられるご利用者に対し、時間をかけ利用をすすめる混乱なく利用していただく事が出来た時は、この仕事をしていて良かったと思えました。

**質問① 介護（福祉）の仕事をするきっかけは何ですか？**  
祖母が独り暮らしをしていて、デイサービスに行っても楽しそうにしている姿を見て介護の仕事に興味を持ちました。高校卒業して就職する予定でしたが、友達から介護の専門学校への誘いがあり東京の学校に行き介護福祉士の資格を取得し、信愛会にて働き始めました。

★ 土肥ホームの星 ★



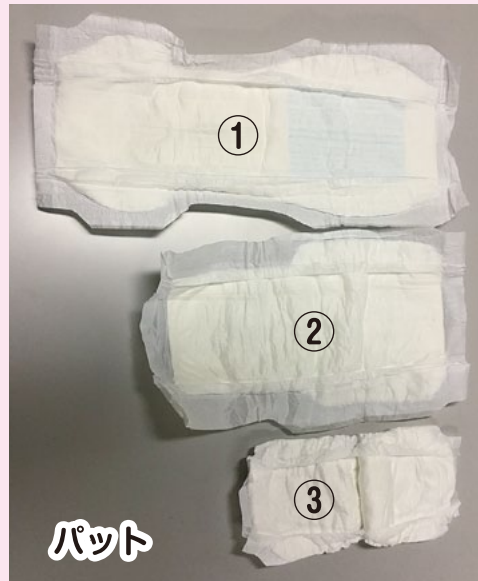
排泄は生きていくために欠かせない行為です。排泄への不安が、生活への不安につながります。適切に支援することが出来ればご利用者の生活はより快適になり、生活の意欲や楽しみに繋がっていくのではないのでしょうか。

今回は、オムツを適正に選べるよう、排泄用品の種類を紹介します。



テープ止めオムツ  
(S~LL サイズ)

主に立位が取れない方、寝た状態で腰を上げることが出来ない方が使用。大きすぎても漏れてしまい、小さすぎても本人が快適でなくなるため、体に合ったサイズを選ぶ。



パッド

下着やリハビリパンツ、テープ止めオムツの中に使用。使用時間帯によって選んだり、尿量、交換時間によってそれぞれ合ったものを選択する。

- ① 5~8回分 (750~1200cc)
- ② 3~4回分 (450~600cc)
- ③ 2回分 (~300cc)

※1回分を150ccとして換算



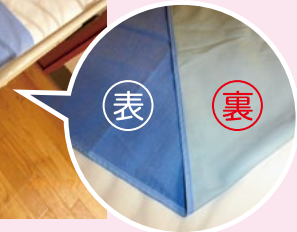
リハビリパンツ  
(S~LL サイズ)

主に立位や歩行が出来る方、失禁がある方も尿意がある方に使用。



防水シート

裏面は撥水加工してある。シーツまでは染みないため、交換する側は負担が軽減される。



紙オムツは、様々な種類があります。使うオムツやパッドを変えることで、快適になったり、楽になることもあります。ご本人の状態や生活パターンもオムツ選びのヒントになりますね。

次回は使用方法を紹介します。

新人紹介

新しい仲間を紹介します。

土肥戸田ホームヘルプ



介護職

蓮沼孝子

生活支援サービス講習に参加したことがきっかけで働くことになりました。よろしくをお願いします。

戸田デイサービス厨房



調理職員

城内智美

今までに厨房の経験はありますが、仕事内容が全く違うので、少しずつ覚えていきながら、頑張っていきたいと思います。よろしくをお願いします。



土肥ホーム 納涼祭

ご協力ありがとうございました

ボランティアの皆様 (順不同)

- ・土肥民生委員様
- ・土肥民生委員 OB 会様・もみじ会様
- ・伊豆総合高校土肥分校(吹奏楽部)様
- ・戸田民生委員様・戸田赤十字奉仕団様
- ・土肥中学校様・粋鼓伝様
- ・大久保混声合唱団様・ラーハーラウ土肥様
- ・戸田漁師唄漁師踊り保存会様
- ・戸田美凜舞様



募金総額は 30,872 円になりました。

28年度の特養では、看介護の連携を深め、介護技術の向上と看護ケアの充実を図った。しかし医療的ケアのニーズの増加により、医療・看護・介護の更なる連携強化が継続課題となった。またショートステイは地域を広げた展開を行い、効率的な稼働運営を行った。在宅サービスでは、入院や施設入居により、稼働減少の影響を受けるが職員配置や加算条件の見直しを行い、稼働減に対し、実態に即した運営を行った。また地域包括ケアシステム構築に向けて関係機関と連携強化に取り組んだ。自主事業のオリジナル弁当も地域において必要なサービス資源の一つとなっている。また職員の人材確保は直接介護等の専門職の不足だけではなく、間接業務も不足傾向にあるが労働意欲ある高齢層の雇用拡大につなげ一部解消した設備関係ではエアコン設備、トイレ改修など住環境の改善を図った。また、国の補助をうけ、防犯カメラ設備を設置し、防犯対策の強化を行い、今年度より全日事務所開放としサービス向上に努めた。

戸田デイサービスは総合事業の開始、包括支援センター再編に向け関係機関と調整、体制変更の準備に取り組んできた。従来から課題である、担い手の確保を課題とし、土肥ホームとの連携において、職員確保に努めた。また地域の医療機関と看護師の協力派遣体制も整えた。デイサービスでは、利用者ニーズに即したプログラムの再編を行った。設備更新面では、老朽化車椅子車両の更新と、ボイラー設備の交換工事、排水ポンプ交換工事を実施した。

土肥ホーム 施設長 福室 悦子  
戸田デイサービスセンターセンター長

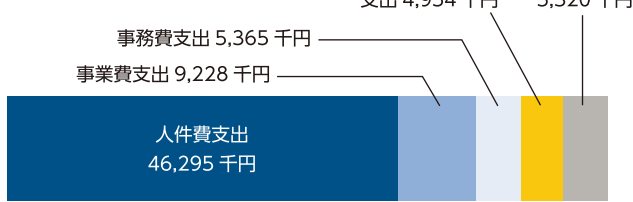
## 平成28年度 決算報告

### 戸田デイサービス

#### 平成28年度 事業収入



#### 平成28年度 事業支出



昨年度からの、デイサービス利用者の軽度化傾向は依然として続いており、全体のサービス利用者における人員割合は、介護とほぼ同数となった。冬季は利用者の体調不良による稼働の低下を見込んでいたが、思いのほか好調であった。配食サービスについては、地域利用者のニーズに柔軟に対応をし、自費弁当の利用が増加した。その結果、介護保険収入は27年度と同様の収入を維持できた。

支出では、老朽化による車輛の更新、浴室給湯ボイラー・排水ポンプの修繕及び更新を行った。また、戸田包括支援センター事業終了に伴い、パソコン・介護保険システムリース料の一括精算処理を行った。

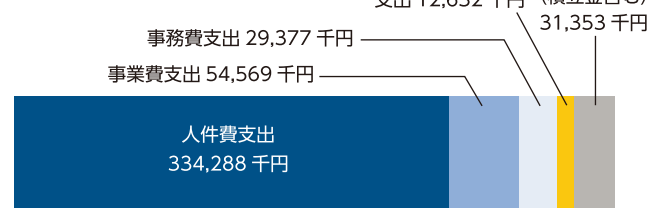


### 土肥ホーム・菜の花ホーム

#### 平成28年度 事業収入



#### 平成28年度 事業支出



平成28年度決算において、特別養護老人ホーム、短期入所事業では安定的に稼働していたが、1月末の入居者集団風邪・インフルエンザ感染により、入居者の入退院や短期入所事業の受入を一部制限したことにより稼働が落ち込んだ。その後入居者の状態が安定し、短期入所事業の受入を通常に戻したが稼働は伸び悩んだ。在宅サービスでは、冬季より利用者の入院が増加し、退院後の在宅復帰が見込めず、他施設への入所や他地域の家族宅へ滞りする傾向にあったため稼働が低下した。菜の花ホームは安定的な稼働であった。支出の面では、人件費においては効率的な人員管理を目指し、人件費の増加を防いだ。開所以来23年が経過し、昨年より引続き入居者の生活環境向上のための第2期トイレ改修工事とエアコンの一部更新を行った。その他でも建物設備の老朽化による修繕や更新が相次いだ。各サービスの稼働の低下により収入増は見込めなかったが、トータル支出を抑えることができたため、先の大規模修繕等を見込んだ施設整備積立金を積立てることができた。

### 編集後記



爽やかな秋風が吹く季節となりました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。東京オリンピック開催まであと3年をきりました。半世紀前にも応援されたご利用者の皆様と、また新たな日々を一緒に笑顔で過ごせていることに感謝します。

松本 弥生

